

題 名	人権課題	分類Ⅰ	分類Ⅱ	番号	上映時間	規格	種類	制作年	内 容（あらすじ）	対象	備 考
愛は海より深く 外国人から見た人権意識に視点をあてる！	外国人の人権	7		1	55分	D V D	ドラマ	1994	オスマン・サンコンの見た外国人に対する差別、部落差別をコミカルなタッチで描く。差別とたたかい、貧困を乗り越え力強く生きぬいていく姿を描く。そして、差別のない明るい国際社会を願う。		※部落差別（同和問題） 企画：和歌山県同和委員会 制作：共和教育映画社
トモダチ	外国人の人権	7		2	31分	D V D	ドラマ	2000	女子大生と中国人の留学生、日本人の少年とベトナム人の少年との交流の中から、文化の多様性を知り尊重すること、そして、一人の人間として様々な違いを乗り越え、触れ合うことの大切さを訴える。		
ソーテ サワサワ ～人間の価値はみな同じ～	外国人の人権	7		3	34分	D V D	ドキュメンタリー	2004	「ジャンボー。私は小林フィデアです。タンザニアから参りました」。強く輝く太陽に育まれた、陽気で明るい性格のフィデアさん。青年海外協力隊員だった一成さんとの出会い、結婚、長野県の三水村で暮らし始めて7年。一緒に生活する中で受け入れていった人々と、一方で外国出身ということだけでフィデアさんを排除した人々。「シーシー・ソーテ・サワサワ…… 私たちみな同じ。みないっしょ」フィデアさんは、私たち日本人へ、そしてこの世のすべての人々へ、願いを込めてこう語る。		企画：長野県同和教育推進協議会 制作・著作：信越放送(株)
この街で暮したい —外国人の人権を考える—	外国人の人権	7		4	32分	D V D	ドキュリメン	2002	入居拒否の例をもとに外国人の人権について考えます。		企画：法務省人権擁護局(財)人権教育啓発推進センター
風と大地と梨の木と 第4章（最終章）	外国人の人権	7		5	51分	D V D	ドラマ	2002	第4章（最終章）のテーマは、「外国人の人権」と「子供の人権」。在日コリアンの人々に対する差別問題、親から見放され児童施設にいる子どもの人権問題など、WBC世界スーパーフライ級チャンピオン徳山昌守氏との交流を通して、いま我々がなすべきことを考える。		※こどもの人権
サラムという名の隣人 在日韓国・朝鮮人はサラムという名の隣人です。	外国人の人権	7		6	38分	D V D	ドキュリメンタ	1990	「サラム」とは朝鮮語で「人間」を意味します。「私の名前は、曹智恵（チョチヒエ）といいます。『呼びにくい』『変な名前』とからかわれて、嫌な思いをしたこともあります。でも、この名前で生活していくのが本当の姿だと思うのです。それにやっぱり、この曹智恵という名前が好きなのです。・・・彼女は、在日3世の大学生。学校の先生を目指す元気な女性です。彼女を通して、現実の問題を追っていきます。	中学生以上	企画：KMJ研究センター 制作：(株)学習研究社
在日コリアンの肖像 時代を生きる家族・7年の足跡	外国人の人権	7		7	45分	D V D	ドキュリメン	1998	共生の時代といわれて久しい。しかし、在日コリアンの場合、本名で生きることさえ、まだまだ容易でないのが現状です。その中で、1991年から本名で生きる家族がいます。ロングセラー作品「叫びとささやき」に登場した全明秀さんの家族です。国籍とは、民族とは、共生とは。		企画・製作：風楽創作事務所
いちばん近くに	外国人の人権	7		8	22分	D V D	アニメ	1996	大阪を舞台に社会的、制度的差別とさまざまな偏見のなかで、みずからの民族的アイデンティティを大切にしながら生きる在日韓国・朝鮮人と日本人との出会いをテーマに製作しました。	小学生以上	企画：大阪府 制作：KMJ研究センター（在日コリアン・マイノリティ研究センター）
外国人と人権 違いを認め、共に生きる	外国人の人権	7		9	33分	D V D	ドラマ	H28	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、みなが住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。		企画：法務省人権擁護局(公財)人権教育啓発推進センター 制作：東映(株) 活用の手引き付き(3本)
名前・・・それは燃えるいのち	外国人の人権	7		1677	18分	V D H V F D	アニメ	H19	ひとりにひとつ、誰もが持っている名前。自分の名前、友だちの名前…名前に込められた思いに気づいたとき、ひとりひとりの命の大切さ、違いの素晴らしさが見えてきた。民族名を隠していた中学生の頃、姜先生が出会ったのは、ゴダイゴの「ビューティフル・ネーム」でした。	高 中 学 生	企画・制作：東映(株)教育映像部